

2018年9月5日

日・ニュージーランド共同プレスリリース
：太平洋気候変動センター（PCCC）に関する協力【仮訳】

1. ウィンストン・ピーターズ・ニュージーランド外務大臣と太平洋諸島フォーラム（PIF）関連会合への総理特使である堀井巖日本国外務大臣政務官は、2018年9月5日、PIF会合の機会に、ナウルにおいて建設的な議論を行った。
2. ピーターズ大臣と堀井大臣政務官は、2018年5月の日本主催の第8回太平洋・島サミットに先だってピーターズ大臣と河野太郎日本国外務大臣により発出された共同プレスリリースを想起した。両者は、ニュージーランド、日本及び太平洋島嶼国の間のパートナーシップを強調し、開発援助を含む、同地域における協調及び協力を強化することへのコミットメントを再確認した。
3. この点に関し、ピーターズ大臣と堀井大臣政務官は、ニュージーランドと日本が、太平洋地域環境計画事務局（SPREP）と緊密に連携した形で、アピアにある太平洋気候変動センター（PCCC）の運営を支援するために協力することを喜んで発表した。日本により建設中のPCCCは、気候変動問題のための傑出した地域的拠点及び卓越した研究拠点となる。PCCCが運営可能になった際に、ニュージーランドと日本は協力する。日本はPCCCにおける研修プログラムを通じて太平洋地域の国々の能力向上を支援するために、2019年半ばからSPREPと共に技術協力プロジェクトを実施することを計画している。ニュージーランドは、例えば、太平洋島嶼国へ気候変動の専門家を派遣するための仕組みの追求を含め、PCCCに必要な人的資源を提供することを計画している。
4. ピーターズ大臣と堀井大臣政務官は、PCCCへの支援が、気候変動を地域的優先課題として含めるニュージーランドのパシフィック・リセット及び日本の自由で開かれたインド太平洋戦略に合致するものであることに留意した。両者は、この協力が、太平洋地域における平和、安定、繁栄及び共同の目標を支援するために、太平洋島嶼国と連携した形で、ニュージーランドと日本が協力するというコミットメントの具体的な現れであるとの見解を共有した。両者は、本件プロジェクトの協力の継続及び両国がこの地域への関与を深めるにあたっての更なる協力・協調に対する期待を表明した。